



ハエ防除のしかた



ハエは人の住むところ、どこにもおり、その繁殖力は旺盛です。その習性をよく知り、適切な防除をしましょう。

*縄をなうハエ

ハエをよくみると、足と羽をこすりあっています。これは足についたゴミを落として、くつきやすくしておくためです。

その姿がナワ(縄)をなうように見えるから、ハエ(蠅)という字ができたということです。

*多く見られるイエバ

ハエの種類は多く数千種類をこえます。私たちの身の回りにいるハエの種類はほぼ限られ、最も多く一般的に見られるのがイエバエです。

*ハエの生活史

ハエは一回に五十〜百五十個の卵を産みます。夏ですと卵はその日にふ化します。その後、二十日足らずで、幼虫、蛹をへて成虫に

なります。

成虫は約一ヶ月間生存し、この間四〜五回産卵し子孫を増やしていきます。

冬は屋内の暖かいところで越冬するため、暖房で部屋が暖かくなると、冬でも食卓などに飛んできます。

*ハエの特性

気温十三度以上になると、交尾、産卵、菜食、飛翔などの行動を開始します。

晴天の日は活発に飛び回り、雨天の日は壁や天井に止まっています。暗いところより明るいところを好みます。

飛翔能力に富むイエバエでは六〜八kmの速度で、四〇〇m、数km先までを飛んでいくと言われています。

イエバエはリボン、照明の紐、物干し用のロープなどに止まる習性があります。

*強くなるハエ

イエバエは殺虫剤に対する抵抗性を持ちやすく、昭和40年代には有機リン系殺虫剤への抵抗性が確認されています。その後発売されたピレスロイド系殺虫剤は抵抗性がないと言われまし

したが、最近ではピレスロイドも効かないハエが全国各地で確認されるようになりました。
*どうして強くなるのか

抵抗性を持つ理由は、殺虫剤が体内に入らないよう皮膚の構造が変化する・ハエが体内で殺虫剤を解毒するようになる・殺虫剤に対する反応が鈍くなる・などが考えられます。

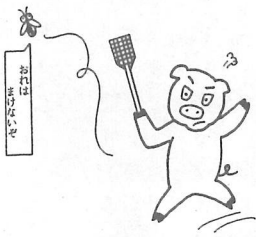
*発生源を覆う

生ごみなど、ハエの発生源となるところは、ふたをしたり、ビニールなどで覆いハエの産卵を防ぎ、さらに、卵や幼虫に効果のある殺虫剤を利用するなど対策が必要です。

*防除は工夫をして

これだけやればよいという方法はありませんがハエの動きの鈍い朝夕や、日溜まりのハエの集まっているところで殺虫剤を使ったり、誘引剤(ハエを引き寄せる薬)を使うなど、効果的に実施しましょう。とくに、来年の発生を防ぐために、秋バエの防除は大切です。

山武農業改良普及センター
農畜産科 伊藤 郁子



文芸

俳句

炎昼をかくも熱かと空ながむ
若梅あやめ

吹き廻す風の道あり三尺寝
戸村 静華

小雨降る船影もなし海開き
福田 幸子

老妹や病みて藤椅子離れざる
今関 茂生

炎昼や廃田の風むせぶ程
福田 晴一

笛上手と云われて老ひし夏祭
小林 順子

空梅雨や植田の空の迷ひ雲
土屋 栗水

尼寺の木魚音流れ合歡の花
鈴木 草庵

走り根の荒々しきや木下闇
藤代 ゆう

炎昼の熱気吐きけり鬼瓦
選者 山口 一秋

短歌

台風の去りたる夜の庭に出で久々
仰ぐ星の輝き
西山満里子

「産玉」の謂れを語り包み解くみ
僧の手許に視線あつまる
吉岡 信子

朝毎に四キロの道を散歩する歩調
いつしか定まりてきぬ
秋葉 悦子

九官鳥の「おはよう」といふ挨拶
に無口な夫が返事を返す
八角 三枝

朝畑に挽ぐ茄子胡瓜その上にトマ
トも加へ籠の重たし
掛川 友代

誰がために着る喪服ならむパーゲ
ンの売り場の隅に吊るされてあり
佐瀬 初音

街川に緋鯉泳ぎて鷗外の生家たづ
ねし津和野なつかし
土屋 栗水

外仕事つねなす息なり携帯電話の
番号のメモ置きて出でゆく
秋葉 とく

寺宝といふ水晶の玉透き通りとほ
き世よりの伝説を秘む
宇井 ちい

むらさきのカーディガンを目に残
し友は自転車に帰ってゆきぬ
向後 房

燕の巢軒に在るのは貧しさの印と
主指差し笑ふ
齊藤 要

手をかけず食卓につける幸を言ひ
湖のほとりに昼餉いたたく
選者 斎藤つね子

